歴史総合-DX

**1855年（安政2）　4つの大地震　〜南海トラフ地震〜**

開国に舵を切った徳川幕府は、ロシア国の接近に警戒して蝦夷地（北海道）を幕府の直轄地の天領とした。 一方、幕府と和親条約を締結したいオランダ国は国王の名で黒船の軍艦を幕府に贈呈し、幕府は長崎に「海軍伝習所」を開設し、新式の西洋軍艦の操縦法を教えてもらうことになった。そんな前途が開けかけた日本国に前年（1854年・安政元年）の11月に「安政東海地震」（M8.4）、その32時間後に「安政南海地震」（M8.4 、津波被害）、さらにその2日後に四国・九州の一部で M7.3 ～ M7.5の大地震が続いたのに続き、この年の10月に首都の江戸に「安政の大地震」（M7.0 ～ M7.1 、江戸地震）が発生し、幕末の日本では多くの瓦版（新聞の前身）が発行され、大騒ぎとなった。